

## スポーツ・ツーリストの来訪動機

～なぜ、滋賀県に訪れようとするのか～

峯坂明佳（競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース）

指導教員 吉倉秀和

キーワード：来訪動機,スポーツ・ツーリスト,初来訪者

### 1. 緒言

スポーツ・ツーリズムとは,非日常空間に滞在し,スポーツ活動を行う旅行全般として捉えられ,二宮(2009)や野川ら(1998)はスポーツやスポーツイベントへの参加,または観戦を目的として旅行し,目的地に最低でも24時間以上滞在することと定義している.

余暇活動への参加希望調査より,日本人の73.3%が国内観光旅行への参加を希望しており,ツーリズムへの関心の高さをうかがわせる結果となっている(レジャー白書2010).そこで,本研究では滋賀県に訪れているスポーツ・ツーリスト(初来訪者)の参加動機,また夏季・冬季によって来訪者の動機に違いが存在するのかを明らかにすることを目的とする.

### 2. 研究方法

2012年2月初旬にかけて,滋賀県B社の高校生以上のウィンタースポーツ実施者251人,2012年8月中旬～9月中旬にかけて滋賀県Sキャンプ場を利用している参加者110人によるアンケート調査を実施し,調査票を361票収集した.初来場者を対象に基本属性,先行研究から来訪動機に関する項目(Brent A.Beggs,2010)を引用した.分析はSPSSを用いて単純集計を行い,来訪動機に関する項目についてはt検定を行った.

### 3. 結果と考察

t検定の結果より,技術・向上下位尺度

において夏季よりも冬季の方が高い数値を示した.刺激・回避下位尺度は冬季よりも夏季の方が高い数値を示した.このことから冬季の来訪者は技術・向上を動機としていることが考えられ,夏季の来訪者は刺激・回避を動機としていることが明らかとなった.相互作用因子,社会性因子には有意差は見られなかった.

表 1.季節別来訪動機平均値

項目		n	平均値	標準偏差	t 値
相互作用	冬	92	3.13	0.87	1.10
	夏	44	2.99	0.52	
社会性	冬	92	3.09	0.88	-1.44
	夏	44	3.31	0.66	
技術・向上	冬	91	3.83	0.79	8.84***
	夏	44	2.61	0.65	
刺激・回避	冬	91	2.98	0.97	4.79***
	夏	44	3.55	0.39	

\*\*\*p<.001

### 4. 結論

本研究の調査結果より,来訪者の来訪動機を性別,年代別,年齢層別,実施回数別,再来訪意図別で比較したところ以上の事からは差異は見られなかった.しかし,冬季・夏季別の「技術・向上」「刺激・回避」因子において,有意差が見られた.この結果より考えると,冬季の来訪者は技術を磨くために訪れている事が分かる.夏季の来訪者は刺激を求めていることが読み取れる.よって夏季と冬季では滋賀県への来訪動機に違いが生まれた事が分かる.

### 参考文献

公益財団法人日本生産性本部(2012)レジャー白書 2012